

コロンビア、大いなる可能性

コロンビア共和国
[商工観光大臣]

セルヒオ・ディアス・グラナドス・ギダ

Sergio Díaz-Granados



コロンビアは、大西洋と太平洋の両洋に面するという恩恵に浴する南米唯一の国である。北米と南米の中間に位置し、中米やカリブ諸国とも非常に近い。米州におけるこのような恵まれた地理的条件に加え、特筆すべきなのはその良好な経済状況と健全な財務状況だ。世界三大格付機関によるわが国の投資格付けは、今年、3社ともに格上げされた。

わが国は、ここ10年間良好な経済成長を達成しており、今後も長期にわたって、鉱業、エネルギー、食料品等の部門でグローバル・クラスになると予想されている。他方、国民1人当たりの所得も年々増加しており、産業発展をさらに勢いづける消費の拡大が進展している。

コロンビアに対する海外からの投資をいっそう拡大するため、わが国はビジネス環境と法制度整備に努めてきた。今年、コロンビアはOECD投資委員会により投資政策の改善を高く評価され、また、世界銀行の報告書『Doing Business 2012』では、「世界で最もビジネス環境が改善した国」の一国にあげられた。

2011年は、貿易面でもコロンビアにとって大きな発展があった。今年、カナダ、スイスとの貿易協定が発効し、10月には、米国議会で米・コロンビアFTAが承認された。韓国、トルコ、パナマ等とのFTA交渉も、今年中の妥結が期待されている。2012年には、EU（欧州連合）と

もすでに交渉中のFTA承認を目指している。

日本とは、今年9月のファン・マヌエル・サントス大統領訪日中に、野田首相との首脳会談で言及されたように、来年には両国間EPA交渉を開始したいと考えている。

アジアとのより緊密な関係を望むわが国にとって、日本は非常に重要な位置を占めている。われわれは、日本がコロンビアを、ビジネスに適し、その貿易のフロンティア拡大のための魅力的な国としてみてもらいたいと願っている。それゆえ今年9月のサントス大統領訪日中に、玄葉外務大臣との間で日・コロンビア投資保護協定が調印に至ったことは喜ばしい次第である。

コロンビアと日本の間で締結された今回の合意は、日本におけるコロンビア投資、そしてコロンビアにおける日本の投資を促進しかつ保護することを目的とする、公正かつ透明な法的枠組みを定めるものである。

われわれは、コロンビアを、豊富な原料とクリーンエネルギーを有し、世界の経済大国に特惠アクセスがあり、安定した法制度と事業環境を備えた、一大輸出プラットフォームをすることを目指している。

日本の企業家の皆様にはぜひコロンビアを訪れていただき、調印されたばかりの投資保護協定のメリットを享受し、わが国が提供する安定したルールの活用をお勧めしたい。